

日本蜃気楼協議会の公式ホームページ

<http://japan-mirage.org/>

富山県総合教育センター

研究主事 木下 正博

1. はじめに

2003年に発足した日本蜃気楼協議会（略称：日蜃協）は毎年、総会・研究発表会を開催し、蜃気楼に関する多くの情報を発信している。その歴史は、前身となる「蜃気楼フォーラムin魚津2002（魚津市制50周年記念事業）」を含めると本年で10年を迎える。この間、蜃気楼に関する研究発表（講演）は67本を数えている。現在、これほど多くの蜃気楼に関する研究成果を蓄積している団体は他に例がなく、日本国内においては本会が蜃気楼研究の中心的な存在になっていると考えられる。

そこで、日蜃協では本会の活動や研究発表をさらに充実させるため、ホームページを活用した情報発信が必要であると考え、理事会を中心に協議を進めた。

2. ホームページ開設までの経緯

日蜃協では2010年度の総会において、「日本蜃気楼協議会の今後のあり方」を検討するワーキンググループ（メンバーは理事および事務局）の設置を決定した。実際の作業は、次のA B C Dプロジェクトチームに別れ検討に入った。

- | | | |
|-------------------------------|-----|-------------|
| ・ A (Advertisement)プロジェクトチーム | ・・・ | 公式ホームページの開設 |
| ・ B (Book)プロジェクトチーム | ・・・ | 公式本の発行 |
| ・ C (Communication)プロジェクトチーム | ・・・ | 市民向けの普及事業 |
| ・ D (DataBaseCenter)プロジェクトチーム | ・・・ | データベースセンター |

Aプロジェクトチームではまず、公式ホームページの開設に向けて、現状と課題および対策について、以下の分析を行った。

- (1) 研究発表会では講演要旨を作成し、会員および当日の参加者（一般からの参加）に配付している。ただし毎年、一般からの参加が少ないのが現状である。

➡ さらに研究発表会をPRし、外部に向けて情報を発信する必要がある。

- (2) 研究発表会の講演要旨については、バックナンバーの保管・管理が曖昧である。

➡ 過去の講演要旨のライブラリーを作成する必要がある。

- (3) 近年、蜃気楼に関するホームページが数多く見られるようになったが、情報発信はほとんどが個人や任意団体であり、一部の掲載事項には個人的な見解が見られる。

➡ 日蜃協として公式な見解をまとめ、正しい情報の発信および啓発を行う。

- (4) 会員が固定化され、会員数が増加しない。

➡ 日蜃協の活動を広く紹介し、HPを会員の募集ツールとして活用する。

- (5) 日蜃協の設立から約10年が経過し、これまでの経緯が分からなくなりつつある。

➡ HPに日蜃協の歴史をまとめ、会員および一般に公開する。

3. ホームページの概要

ホームページの開設を機会に、本会の略称および英語での名称を決定し、ドメイン名を取得した。英語での名称については将来、外国に向けた情報発信を視野に入れている。

正式名称：日本蜃気楼協議会（略称：日蜃協）
 英語の名称：japan mirage association
 HPのURL：http://japan-mirage.org/

日本蜃気楼協議会



日本蜃気楼協議会(略称:日蜃協) - japan mirage association - は全国各地の蜃気楼に関する調査、研究、教育普及を図ることを目的に2003(H15)年に発足した団体です。会員は、日本各地で活動している蜃気楼研究者・観察者で構成されています。主な活動としては毎年、研究発表会等を開催し、会員相互の情報交流および親睦を図っています。

日本蜃気楼協議会への入会希望や、蜃気楼に関する問い合わせは、下記のメールアドレスまでお願いします。

shinkirou-net-owner@yahoo.co.jp

入会案内
※入会に関する案内はこちら

研究発表会
※蜃気楼交流会の講演要旨はこちら

蜃気楼のHP紹介
※蜃気楼に関するHPの紹介はこちら

日蜃協の歴史

会則・組織

会員専用ページ

[新着情報]
2011.05.15 本日よりHPの運用を開始しました。

※講演要旨や映像等を許可なく転載・複製をしないでください。

日本蜃気楼協議会 研究発表会(蜃気楼交流会)講演要旨 他

日本蜃気楼協議会は毎年、蜃気楼に関する調査、研究、教育普及に関する研究発表会(蜃気楼交流会)を開催しています。
各発表会の詳細については、講演要旨が以下よりダウンロードできます。

No.	期 日	事 業	Link
10	2011(H23).05.15	第9回 蜃気楼交流会-研究発表会-	□
09	2010(H22).05.16	第8回 蜃気楼交流会-研究発表会-	□
08	2009(H21).05.17	第7回 蜃気楼交流会-研究発表会-	□
07	2008(H20).06.15	第6回 蜃気楼交流会-研究発表会- (小樽)	□
06	2007(H19).05.20	第5回 蜃気楼交流会-研究発表会-	□
05	2006(H18).05.21	第4回 蜃気楼交流会-研究発表会-	□
04	2005(H17).05.15	第3回 蜃気楼交流会-研究発表会-	□
03	2004(H16).05.16	第2回 蜃気楼交流会-研究発表会-	□
02	2003(H15).06.01	第1回 蜃気楼交流会-研究発表会-	□
01	2002(H14).05.19	魚津市制50周年 蜃気楼フォーラム in 魚津2002	□

平成22年度日本蜃気楼協議会 研究発表会(蜃気楼交流会)講演要旨

プログラム
(番号をクリックすると要旨がリンクします)

- ① 2010年4月10日琵琶湖南湖で発生した蜃気楼の報告
伴 禎 (琵琶湖蜃気楼研究会)
- ② 蜃気楼友好交流訪中回への参加報告
～中国山東省「蓬萊市」の蜃気楼について～
木下 正博 (富山県総合教育センター)
- ③ 生地島における上位蜃気楼の観測報告
～2010.5.5に発生した蜃気楼のビデオ映像～
木下 正博 (富山県総合教育センター)

あなたも「日本蜃気楼協議会」に入会しませんか？

- 会員になる資格はあるのですか？**
蜃気楼に興味を持った方であればどなたでも入会できます。日本蜃気楼協議会には専門的な知識を持った研究者もいれば、写真やビデオで蜃気楼を紹介することを目的にした方もいます。
- 入会費や年会費は必要なのですか？**
入会金は不要、年会費は一人1000円です。研究発表会のときに支払うか、または銀行振り込みでもOKです。
- どんな活動をしているのですか？**
年1回、開催される総会と研究発表会が主な活動です。日頃は、メーリングリスト(ML)を使って情報交換をしています。MLでは全国で発生する蜃気楼の情報が手に取るように分かります。
- 研究発表はどんな雰囲気ですか？**
専門的な発表の他に、蜃気楼に関する歴史や文化、撮影技術に関する発表など内容は様々で大変、楽しい雰囲気です。
- 入会するにはどのようにすればよいのですか？**
まずは、HPのトップ画面にあるメールアドレスから入会希望のメールを送ってください。詳細なご案内をさせていただきます。

皆さんの入会を待っています！

日本蜃気楼協議会が推奨するホームページ

以下は日本蜃気楼協議会が推奨する公的な機関のホームページです。蜃気楼の研究にご活用ください。

ホームページ	内 容	Link
魚津埋没林博物館	日本蜃気楼協議会の事務局が入る博物館。蜃気楼について詳しく解説されています。	□

蜃気楼の情報を発信するホームページ

近年、蜃気楼に関するホームページが多く見られるようになりました。以下は蜃気楼に関する様々な情報を発信する個人や任意団体が作成したホームページです。内容については各ホームページの開発者に責任があり、一部には個人的な見解を含む記述があります。参考にする場合はご注意ください。

※リンクの申請は随時受け付けますので、トップページよりメールにて問い合わせください。

ホームページ	内 容	Link